

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(5月分)について

2024年5月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	13,692,538	5,516,807	248.2%	19,295,275	71.0%
国内旅行	15,983,438	15,873,624	100.7%	13,556,086	117.9%
訪日旅行	832,145	390,981	212.8%	427,892	194.5%
合計	30,508,121	21,781,412	140.1%	33,279,253	91.7%

【概況】

5月の営業概況は、総取扱額305億812万1千円、前年同月比140.1%、2019年同月比では、91.7%となりました。

海外旅行は、5月の出国日本人数が2019年比較で65.5%と前月から12.2ポイント増となったものの、総務省の家計調査による外国パック旅行への支出が前年を下回るなど、市場の回復は緩慢です。こうした中、当社では、堅調な韓国、台湾に加えて、ベトナム、タイ、トルコの販売を全国的に強化したほか、欧州や北米の募集告知を継続的に行いました。その結果、円安、燃油高の影響が比較的軽微なトルコの集客が2019年同月比を上回ったほか、アジアが伸長し、海外旅行の取扱高は前年同月比約2.5倍となりました。2019年同月比では71.0%となり、前月から回復が進みました。

国内旅行は、物価の上昇に伴う節約志向もあり、個人消費がやや減退傾向ですが、需要は前年と同水準で推移しています。こうした中、当社では旅行シーズンをむかえる北海道において、温泉、食事、壮大な景色にこだわった商品やグレードの高いホテルに宿泊する商品など、企画性の高い周遊型旅行の全国での販売強化に取り組みました。また、GWを中心に、手軽に参加できる日帰りバスツアーの販売も積極的に行いました。その結果、北海道が伸ばしたほか、フルーツ狩りや季節の花々を観賞する日帰りバスツアーが集客を牽引し、近畿、中国地方が前年を大きく上回りました。国内旅行全体の取扱高は、前年同月比100.7%、2019年同月比では117.9%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	2,669,813	2,284,687	116.9%	3,417,421	78.1%
国内旅行	178,896	142,661	125.4%	237,249	75.4%
訪日旅行	4,797	0	—	50,746	9.5%
合 計	2,853,507	2,427,349	117.6%	3,705,417	77.0%

【概況】

5月の営業概況は、総取扱額28億5,350万7千円、前年同月比117.6%、2019年同月比では77.0%となりました。

海外旅行は、インド、北米の業務渡航の需要増により回復が進み、前年同月比116.9%、2019年同月比では78.1%となりました。

国内旅行は、航空券の取扱いが増加したことにより前年を大きく上回り、前年同月比125.4%、2019年同月比では75.4%となりました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	15,994,178	7,707,083	207.5%	22,675,838	70.5%
国内旅行	16,113,448	15,987,007	100.8%	13,682,936	117.8%
訪日旅行	836,942	390,981	214.1%	478,638	174.9%
合 計	32,944,568	24,085,072	136.8%	36,837,412	89.4%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724